

Daily Macro Economic Insights

企業物価指数(23年5月速報)

— 輸入物価の下落が進むことで交易条件の改善が続く —



PwC Intelligence チーフエコノミスト 片岡 剛士
シニアエコノミスト 伊藤 篤

国内企業物価指数の伸びは弱まる、輸入物価指数の減少は加速

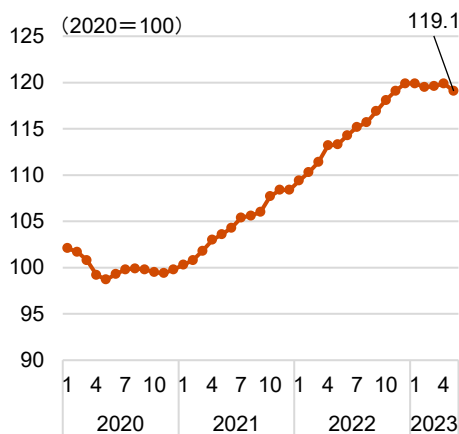
日本銀行から5月の企業物価指数が公表された。結果をみると、国内企業物価指数が前月比-0.7%(前年比+5.1%)、輸出物価指数は、契約通貨ベースで前月比-0.2%、円ベースで同+1.7%(前年比+2.0%)、輸入物価指数は、契約通貨ベースで前月比-0.1%、円ベースで同+2.2%(前年比-5.4%)となった。再生可能エネルギー賦課金の減額の影響もあり国内企業物価は低下。輸入物価指数の前年比は3月に前年比一桁の伸びとなり、4月に減少に転じたが、5月は減少幅がより拡大している。国内企業物価指数につき前月比で大きく上昇した品目をみると、農林水産物(寄与度+0.03%ポイント)、金属製品(同+0.02%ポイント)、生産用機器(同+0.02%ポイント)といった品目の伸びが大きい。逆に下落した品目では、電力・都市ガス・水道(同-0.63%ポイント)、石油・石炭製品(同-0.06%ポイント)の影響が大きくなっている。

図表1: 企業物価指数の概要

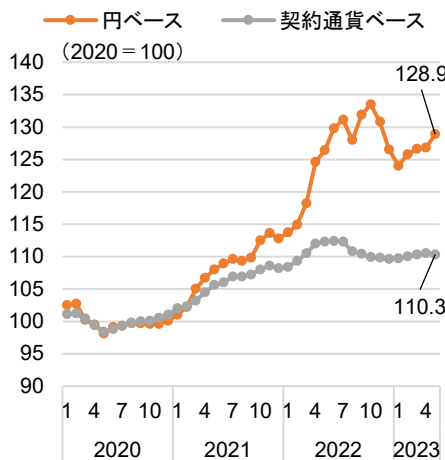
(単位: %)

| | 国内企業物価指数 | | 輸出物価指数 | | | | 輸入物価指数 | | | | |
|-------|----------|------|--------|------|---------|------|--------|------|---------|------|------|
| | | | 円ベース | | 契約通貨ベース | | 円ベース | | 契約通貨ベース | | |
| | | | 前月比 | 前年比 | 前月比 | 前年比 | 前月比 | 前年比 | 前月比 | 前年比 | |
| 2022年 | 1 | 0.9 | 9.1 | 0.8 | 12.6 | 0.2 | 6.3 | -0.2 | 35.4 | -0.8 | 25.9 |
| | 2 | 0.8 | 9.4 | 1.1 | 12.4 | 0.8 | 6.8 | 2.5 | 33.0 | 2.3 | 24.6 |
| | 3 | 1.0 | 9.4 | 2.9 | 12.6 | 1.1 | 7.1 | 3.5 | 32.6 | 1.3 | 24.1 |
| | 4 | 1.6 | 9.9 | 5.4 | 16.8 | 1.4 | 7.2 | 10.3 | 42.6 | 5.1 | 27.6 |
| | 5 | 0.1 | 9.4 | 1.4 | 17.0 | 0.3 | 6.3 | 3.9 | 44.9 | 2.2 | 27.7 |
| | 6 | 0.9 | 9.6 | 2.7 | 19.2 | 0.1 | 6.0 | 5.3 | 48.3 | 2.1 | 27.6 |
| | 7 | 0.8 | 9.3 | 1.0 | 19.6 | -0.1 | 5.1 | 2.8 | 49.2 | 1.1 | 26.3 |
| | 8 | 0.4 | 9.6 | -2.4 | 17.1 | -1.3 | 3.6 | -2.2 | 42.8 | -1.1 | 22.0 |
| | 9 | 1.0 | 10.3 | 3.0 | 20.1 | -0.4 | 3.0 | 5.4 | 48.5 | 0.8 | 21.5 |
| | 10 | 1.0 | 9.7 | 1.2 | 18.7 | -0.5 | 1.8 | -0.1 | 42.3 | -2.1 | 16.5 |
| | 11 | 0.8 | 9.9 | -2.0 | 15.1 | -0.1 | 1.1 | -5.4 | 28.0 | -2.8 | 8.4 |
| | 12 | 0.7 | 10.6 | -3.3 | 12.1 | -0.2 | 1.3 | -4.6 | 22.2 | -0.6 | 7.5 |
| 2023年 | 1 | 0.0 | 9.6 | -2.0 | 9.1 | 0.1 | 1.2 | -4.5 | 17.0 | -1.8 | 6.5 |
| | 2 | -0.3 | 8.3 | 1.5 | 9.5 | 0.3 | 0.6 | 0.9 | 15.1 | -0.6 | 3.5 |
| | 3 | 0.1 | 7.4 | 0.6 | 7.1 | 0.3 | -0.2 | -1.4 | 9.6 | -1.9 | 0.2 |
| | 4 | 0.3 | 5.9 | 0.2 | 1.8 | 0.2 | -1.3 | -3.2 | -3.8 | -3.0 | -7.5 |
| | 5 | -0.7 | 5.1 | 1.7 | 2.0 | -0.2 | -1.8 | 2.2 | -5.4 | -0.1 | -9.6 |

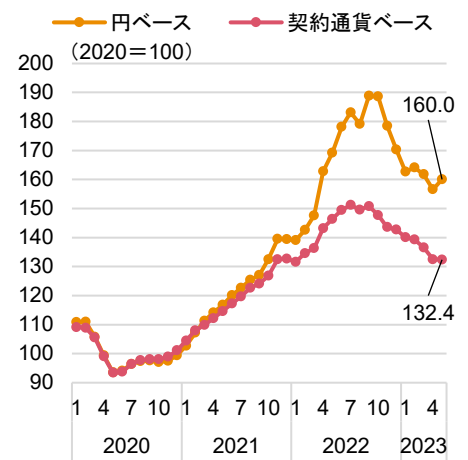
図表2: 国内企業物価指数の推移



図表3: 輸出物価指数の推移



図表4: 輸入物価指数の推移

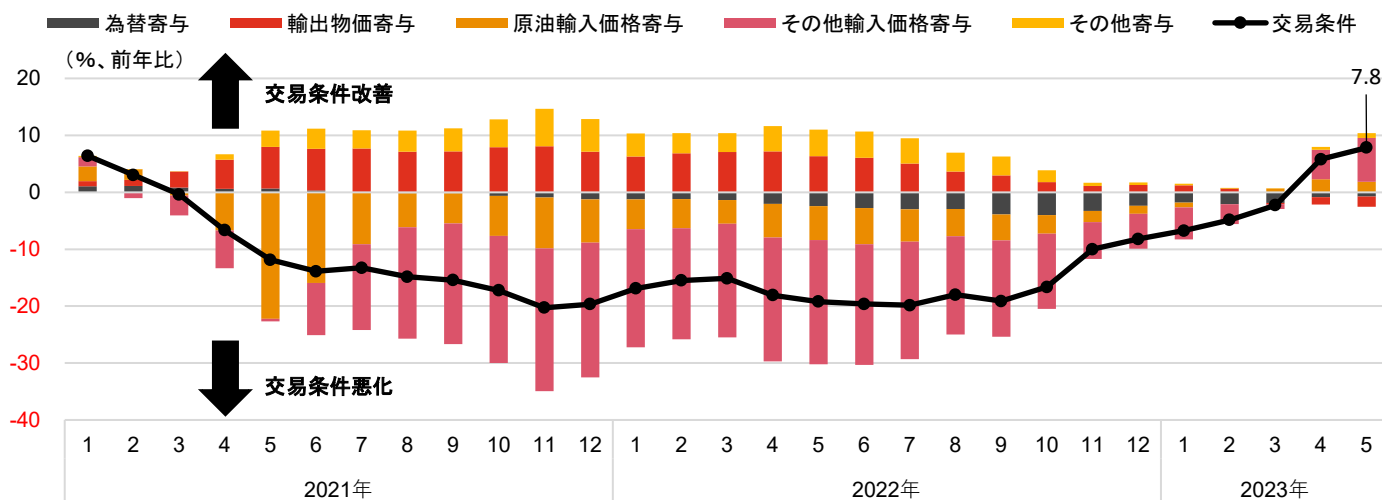


出所: 日本銀行「企業物価指数」より筆者作成

交易条件の改善は継続

図表5は交易条件(輸出物価指数÷輸入物価指数)の前年比を折れ線で、交易条件に影響する輸出物価指数、輸入物価指数、さらに為替レートの影響を寄与度の形で示している。交易条件は2021年4月以降、前年比で悪化を続けていたが、2023年5月は先月からさらにプラス幅を拡大して前年比+7.8%となった。2023年5月の交易条件変化の内訳をみると、その他輸入価格の寄与が7.7%ポイント、原油輸入価格の寄与が1.8%ポイント(プラスは輸入価格の低下を示す。いずれも逆符号)と、輸入価格の減少が交易条件の前年比増に寄与している。今後も輸入価格の減少が交易条件を改善させる流れは続くだろう。

図表5: 交易条件変化(前年比)と寄与度の推移



出所: 日本銀行「企業物価指数」より筆者作成。為替寄与は交易条件指数(円ベース)前年比と交易条件指数(契約通貨ベース)前年比の差として計算している。原油輸入価格寄与は原油輸入価格(契約通貨ベース)前年比に原油の輸入品目全体に対するウエイトを乗じて計算した値。その他寄与は為替要因と輸出入物価要因の積として定義される寄与。

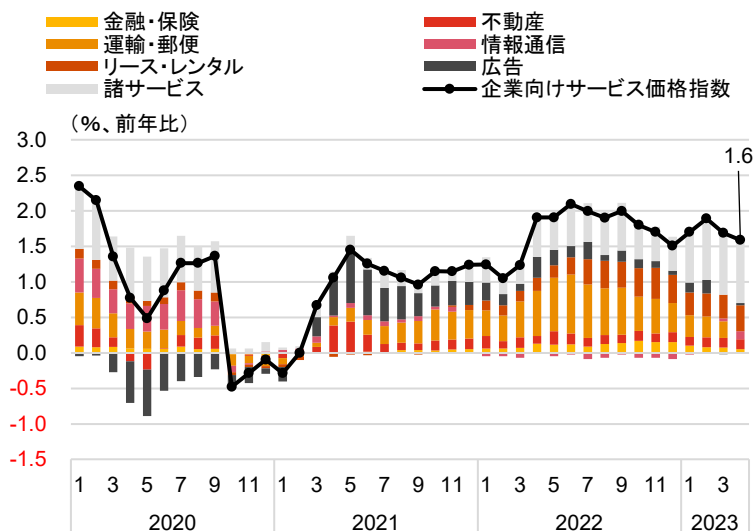
企業向けサービス価格指数の伸びは鈍化が続く

企業向けサービス価格指数は、企業間で取引されるサービスについての物価指数である。これは需給ギャップとの相関が高く、景気変動に対し敏感に動く傾向が強いことが知られている。図表6は企業向けサービス価格指数の前年比を折れ線グラフで、企業向けサービス価格指数を構成する各サービスの寄与度を棒グラフで示したものである。4月の総平均は前年比+1.6%となった。

動きをみると、企業向けサービス価格指数は2022年5月以降、前年比+1.5%から+2.1%のレンジで推移しており、この上昇には、「諸サービス」の伸びが寄与している。「諸サービス」の内訳をみると、特に自動車整備、機械修理、職業紹介サービスといったサービスの価格が上昇している。

需給ギャップが需要超過へと転換するには、企業向けサービス価格がさらに伸びを強めていくことが必要だが、4月は3月に続いて鈍化したと言えよう。

図表6: 企業向けサービス価格前年比と各サービスの寄与度の推移



出所: 日本銀行「企業向けサービス価格指数」より筆者作成

片岡 剛士

チーフエコノミスト

PwC Intelligence

PwCコンサルティング合同会社

伊藤 篤

シニアエコノミスト

PwC Intelligence

PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

PwCコンサルティング合同会社 PwC Intelligence

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー Tel:080-7536-2745

©2023 PwC Consulting LLC. All rights reserved. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.